

千葉県学校薬剤師会研修会・地域サポート事業 ～市川市学校薬剤師会研修会報告～

市川支部長 伊藤真由美

『学校環境衛生検査の指導助言とオーバードーズについて』

講師：千葉県学校薬剤師会 会長 畑中範子

令和7年10月8日(火)午後8時より、市川市薬剤師会主催の学校薬剤師研修会が開催されました。

今回の研修は、しばらく会として学校薬剤師研修を行っていなかったことから、環境衛生検査の手順や指導の進め方を改めて確認・ブラッシュアップする目的で企画されました。また、近年小中学校から薬物乱用防止教室の依頼が増えていることもあり、薬物・医薬品の安全教育に関する知識を深めるよい機会となりました。

前半では、学校薬剤師の活動内容や、学校環境衛生検査の具体的な測定項目(照度・換気・水質・騒音など)について、指導助言のポイントや実践的な事例を交えながら解説いただきました。単に数値を確認するだけでなく、学校現場での改善や教育環境の向上にどのようにつなげるかという姿勢が大切であることを改めて学びました。

後半は、若年層の間で問題となっているオーバードーズ(医薬品の過量摂取)や大麻などの薬物乱用について、実際の現場での事例や背景、SNSを通じた拡散の現状などが紹介されました。学校薬剤師として、保健教育や情報提供の場を通じて、早期発見や予防に関わる重要性を感じました。

1時間半という講演時間では足りないほど盛りだくさんの内容で、3時間ほど確保してじっくり学びたかったと思うほどの充実した研修でした。参加者一同、改めて学校薬剤師としての役割の広さと責任の重さを実感し、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、ご多忙の中、快く講師をお引き受けくださり、熱意あるご講演をいただきました畑中範子会長に心より感謝申し上げます。



千葉県学校薬剤師会 会長 畑中範子

